

済美 — 済々豊

【済美】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
田下川	4	0	1	0	1	0	0	0	1
佐藤	4	0	0	0	0	0	0	0	1
安太盛	4	1	1	0	2	1	0	0	0
光町	4	4	1	2	2	3	0	0	0
金子	4	4	1	1	1	0	1	0	0
寺子	3	0	0	0	0	0	0	0	0
田	4	1	2	1	1	0	0	0	0

計 33494111221

【済々豊】	打	得	安	点	振	球	犠	盗	失
川原	5	0	1	0	0	1	0	0	0
藤林	4	4	1	2	0	0	0	0	0
下橋	4	0	0	0	0	0	0	0	0
永口	3	2	0	0	2	1	0	0	0
岡田	1	0	0	0	0	0	0	0	0
坂	0	0	0	0	0	1	0	0	0

計 3417183100

【投手成績】	回	打	安	振	球	失	責
安楽	9	38	15	7	8	3	1
大竹	9	36	13	9	11	1	4

◇済美・上甲正典監督 安楽はよく投げた。精神的に強くなっている。自分が投げなきゃという自覚がある。

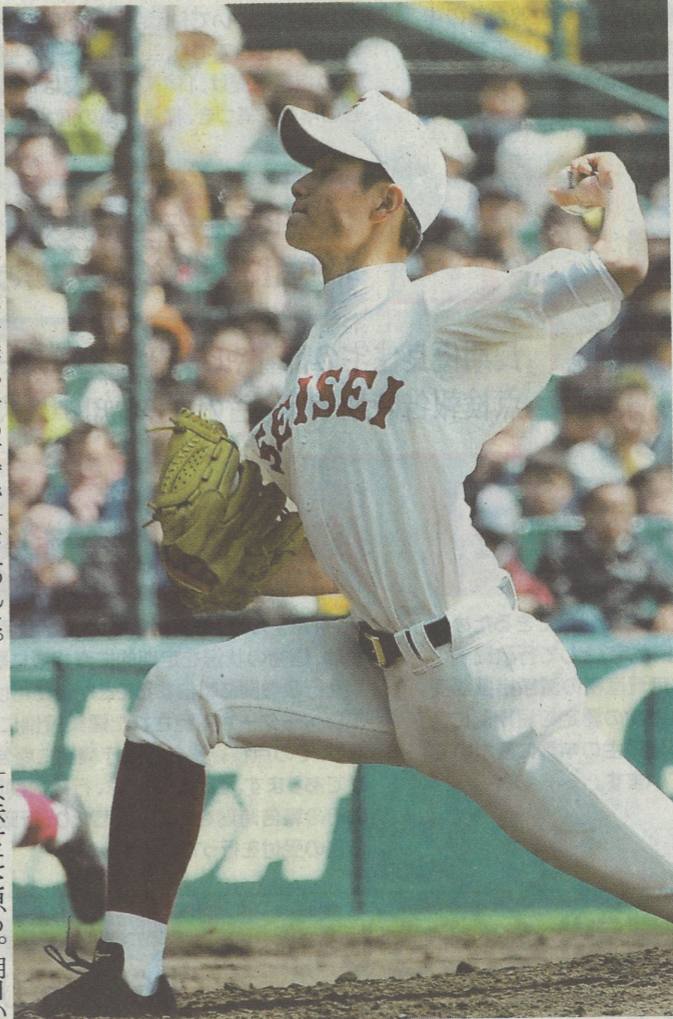
◇済美・安楽智大投手 きょうはスピードが出ない。コースを突こうとついでに自分のバットで取り戻そうと思っていた。

◇済々豊・池田満頼監督談話

安楽君のボールに振り負けた。序盤のチャンスをでもう1、2点取れていれば、大竹ももう少し振れていただろう。

だが、好投手との対戦を通じ選手たちの成長を感じた。

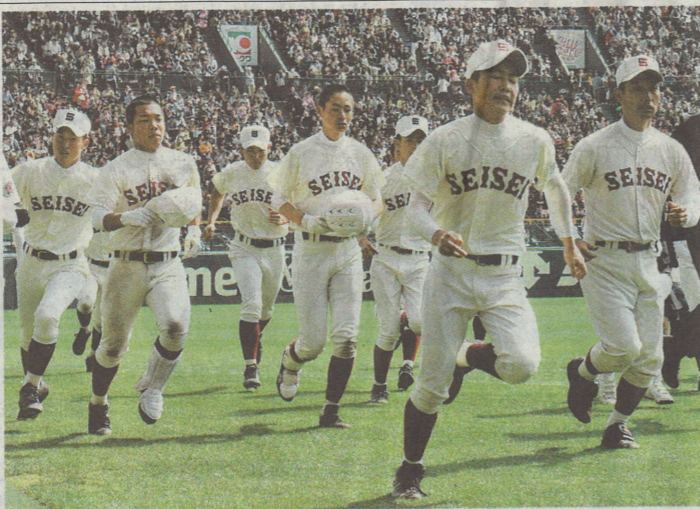
【済美ー済々豊】力投する済々豊のエース大竹 甲子園(谷川剛)



大竹11奪三振 「また努力」

2点三塁打。前の打席で変化球を二塁打され、「どつせ打たれるのなら、真つすくで」と投じた初球。十分対抗できること

アルプス席の応援団にあいさつし、ベンチに戻る済々豊の選手たち 甲子園(谷川剛)



平下読み勝ち適時打

「ここまでチャンスで打てなかったので、素直にうれしい」。済々豊唯一の得点をたたき出した平下雄盛はちょっと顔をほころばせた。

読み勝ちだった。五回2死一、二塁。内角膝元の147kmの速球が外れてフルカウントになると、「次も同じ球がくる」と狙いを定め、思い切り振り抜いた。

前の打席はスライダーを捉え、甲子園2安打。「序盤から確実に得点して大竹を楽にしてやりたかった。打撃を鍛えて夏に戻ってきた」と力を込めた。

「終盤で腕が少し振れなくなったが、力は最大限出し切れた。自分の力不足」。済々豊のエース大竹耕太郎は大会屈指の豪腕、済美(愛媛)の安楽智大との投げ合いを淡々と振り返った。

安楽を上回る11三振を奪つなど、終盤まで好投を続けた。だが同点の8回、その安楽に勝ち越し

済々豊選手ひとこと

◇西橋豪二郎(一塁手) 相手の投球術に翻弄(ほんろう)された。もっともっと振り込む。

◇小林太一(二塁手) 守備はできていたが、打撃では勝負強さが足りなかった。大舞台で強豪校と戦いたい経験になった。

◇岡泰成(三塁手) 甲子園の雰囲気緊張した。バントはもちろん、狙い球や高めの球の見極めなど打撃技術を磨きたい。

◇林竜也(左翼手) 正直、負けて悔しい。自分の弱点も分かった。夏に向けてしっかり振り込んでいきたい。

◇川原諒(右翼手) 序盤に予想以上に安打が出て、いけるかと思っただけ、後半は点が入らずに焦ってしまった。

◇安楽智大(投手) 大竹さんに任せっきりではなく、自分もピンチの時に使ってもらえるように夏には成長したい。

◇金澤爽(あきら) 捕手ピンチの時に何もできず、悔しかった。少しでもチームの役に立てよう力を付けたい。

◇坂田悠史(内野手) 必死で球に食らい付こう



【済美ー済々豊】5回裏、済々豊1死一塁、安藤が遊撃内野安打を放ちヘッドスライディング。一塁手盛田(甲子園)

と、代打の打席に立った。いい当たりだったが、運がなかった。

◇佐藤孝祐(内野手) 素直に悔しいが、課題も見つかった。夏に向けてしっかり練習し、またここに戻ってきた。

◇田口貴雄(内野手) できることはやったが、勝てなかった。自分たちの力のなさを感じた。打力をアップしたい。

◇山城慶介(内野手) こぞという場面で相手との力の差を感じた。もっと打力を磨き、夏の大会に臨みたい。

◇竹永羽(つばき) 外野手 安楽投手と対戦するのが目標だった。凡退したが、打席に立てたことは今後の自信になる。

◇池田竜馬(外野手) 得点できる場面も多く、勝てない試合ではなかった。チャンスをものしれないといけない。

◇西川輝(外野手) 出番がなかったのは、力が足りないから。夏までに試合で使ってもらえる選手に成長したい。

◇白石優花(マネージャー) 済々豊らしい野球を見せてもらえた。最後まで笑顔でプレーし、みんなが格好良かった。

◇清水菜奈(マネージャー) ベンチに入り、開会式でプラカードも持った。みんなに「ありがとう」と言いたい。